



JASIリサーチメモ

R6-12号：2025年3月14日

中国におけるロケット軍建設

ーシリーズ⑦ー各戦区に跨る基地及びシリーズ全般の総括

防衛戦略研究室 防衛事務官 千綿 るり子

一 項 目

1 趣 旨

2 第67基地から第69基地の概要

3 第67基地から第69基地の組織編成と部隊所在地等

- | | | |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| ①中国軍の組織編成図 | ②ロケット軍部隊の編成及び所在地 | ③ロケット軍第67基地(96607部隊)の編成 |
| ④ミサイル技術勤務旅団(96037部隊) | ⑤通信連隊(96872部隊) | ⑥作戦保障連隊(96873部隊) |
| ⑦特殊装備輸送隊(96878部隊) | ⑧96038部隊 | ⑨応急処置大隊(96711部隊) |
| ⑩訓練連隊(96871部隊) | ⑪総合保障連隊(96874部隊) | ⑫装検研究所(96877部隊) |
| ⑬総合防護第2連隊(96876部隊) | ⑭ロケット軍第68基地(96608部隊)の編成 | ⑮工程第1旅団(96781部隊) |
| ⑯工程第2旅団(96782部隊) | ⑰工程第3旅団(96783部隊) | ⑱工程第4旅団(96784部隊) |
| ⑲工程第5旅団(96785部隊) | ⑳工程第6旅団(96786部隊) | ㉑訓練連隊(96881部隊) |
| ㉒機動通信連隊(96882部隊) | ㉓総合保障連隊(96884部隊) | ㉔通信工程連隊(96885部隊) |
| ㉕工程維持保障大隊(96886部隊) | ㉖ロケット軍第69基地(96609部隊)の編成 | ㉗第1試験訓練区(96791部隊) |
| ㉘測量制御連隊(96892部隊) | ㉙第2試験訓練区(96792部隊) | ㉚藍軍連隊(不明) |
| ㉛第3試験訓練区(96793部隊) | ㉜第4試験訓練区(96794部隊) | ㉝岢嵐発射勤務所(96891部隊) |
| ㉞96893部隊 | ㉟96894部隊 | ㊱測量制御大隊(96896部隊) |
| ㊲サイロ群(ハミ) | ㊳サイロ群(玉門) | ㊴サイロ群(杭錦) |
| ㊵対衛星兵器試験基地(軍事宇宙部隊) | ㊶不明施設(軍事宇宙部隊) | |

4 第67基地から第69基地の評価

5 シリーズ全般の総括

1 趣 旨

本資料は、「中国におけるロケット軍建設」に関して、「シリーズ⑥中部戦区の組織編成及び部隊所在地について」に続き、各戦区に跨っているロケット軍の第67基地から第69基地までの組織編成及び部隊所在地についてまとめるとともに、これまでのシリーズを総括するものである。

第67基地から第69基地までの作成に際しては、これまでのシリーズ同様に公開情報(*1)により旅団レベルまではその所在地を確認できたが、大隊レベル以下の細部編成についてはその確認が難しいことから、米空軍の中国航空宇宙研究所(CASI)発表の「人民解放軍ロケット軍の組織」(*2)に従いまとめた。

2 第67基地から第69基地の概要

中国ロケット軍は、中国全土に9か所の基地を有しており(参照：6頁)(*3)、第61基地から第66基地までのミサイル基地は概ねそれぞれの戦区内に集中して所在しているが、第67基地から第69基地までは戦区を跨り所在する。

この内、CASIのMaxiuや台湾の中国軍事専門家の温約瑟によれば、第67基地は核弾頭の保管、第68基地はインフラ整備、第69基地は訓練や試験発射任務を担っている。

3 第67基地から第69基地の組織編成と部隊所在地等

5頁以降の①から④に示すとおり。

4 第67基地から第69基地の評価

核弾頭の保管を担う第67基地や試射・訓練を担う第69基地は、Google Earthによる限り、それぞれの隷下部隊の施設は、2010年頃までには当該場所に既に所在或いは概成がなされており、近年大規模に施設が整備された状況は認められない。

その一方でインフラ整備を担う第68基地は、工程第1旅団(宝鶏)、工程第5旅団(洛陽)等、近年更地であった場所に大規模に施設を建設してきた状況が確認された。

従って、これら施設の整備状況から見る限り、中国軍がロケット軍において施設の建設に力を入れてきたことが窺える。

また、前述のとおり、第67基地は核弾頭の保管を担っているとされるが、今回その核弾頭の具体的な保管場所を特定するには至らず、他国への影響もあり、その保全度や秘匿度は非常に高いものと想像される。

加えて、新疆ウイグル自治区のハミ市や甘粛省の玉門市で確認されたサイロ群については、各戦区にロケット軍司令部は所在しないとみられることが今回の調査の結果で確認されたことから、それぞれのサイロ群が所在する戦区にあるロケット軍基地司令部の直属部隊であることが考えられるほか、中央軍事委員会やロケット軍司令部の直属部隊であることも考えられる。また、核弾頭の保管を担う第67基地に管理されている可能性或いは運用に至っていないとみられる現時点では、インフラ整備を担う第68基地に管理されている可能性も考えられるが、その細部は不明である。

5 シリーズ全般の総括

「中国におけるロケット軍建設」のシリーズ①からシリーズ⑦までを総括する。

今年度の「中国におけるロケット軍建設」に係る研究は、『戦略学』(中国軍の研究機関による編集・出版の教範)において宇宙軍編成の可能性に言及(*4)されているように、中国が今後、ロケット軍において宇宙軍を編成していくならば、具体的にどのようにして編成していくのかという問題意識を念頭に置き、ロケット軍の全体像の把握を試みたものである。

*1:温約瑟「中国人民解放军基地及び施設」https://umap.openstreetmap.fr/en/map/by_77487#11/19.7751/110.7003; Decker Eveleth “People’s Liberation Army Rocket Force of Battle 2023” James Martin Center of Nonproliferation Studies Middle Institute of International Studies at Monterey, JULY 2023; 陳振国, 杜建明「中共火箭軍战术彈道導彈对我軍事之威胁与因应对策(中国共産党ロケット軍戰術彈道ミサイルの台湾軍に対する脅威と対策)」『海軍學術隔月刊』第51卷第6期; 陳振国「浅析中共『火箭軍』发展与运用(中国共産党『ロケット軍』の發展と運用に関する分析)」『海軍學術隔月刊』第55卷第1期等

*2:Ma Xiu “PLA ROCKET FORCE ORGANIZATION” China Aerospace Studies Institute,

<https://airuniversity.af.edu/Portals/10/CASI/documents/Research/PLARF/2022-10-24%20PLARF%20Organization.pdf> (August 5, 2024)。以下、CASIレポートと略する。

*3:『環球時報』2015年9月1日。

*4:JASIリサーチメモR6-03号「中国におけるロケット軍建設—シリーズ①—ロケット軍の戦略」2024年8月27日。

各戦区ごとのミサイル基地及び第67から第69基地までを調査してきた結果、大まかには、台湾正面に位置する東部戦区の第61基地には主に短距離や中距離ミサイルが配備されており、南シナ海や東南アジア正面の第62基地には中距離弾道ミサイルが多く、その他の南部戦区の第63基地、西部戦区の第64基地、北部戦区の第65基地及び中部戦区の第66基地には、主として大陸間弾道ミサイルを配備しているとみられる旅団が多いことが確認された。さらに、これらの旅団では、その多く(第621・634・632・644・645・647・651・652・662・664・665旅団等)が、近年大規模に施設が新設或いは増設されてきた状況が確認され、中国が近年、米国本土向けミサイルの増強を企図してきたことを窺わせるものと捉えられた。これは、中国軍が、『戦略学』(2013年版)で掲げた「核反撃に使用できるミサイル兵器数を増やす」との基本目標に従ってきたことを示すものとも言えよう。

その一方で、第61基地から第66基地までの後方支援旅団や第67基地、第69基地等は、近年大規模に施設が増設されたり、新設されたりした状況は、それほど確認できなかった。

また、全体で見ると、ロケット軍部隊は、湖南省、湖北省、河南省、陝西省等に集中している状況が確認された。



他方で、今回の研究を経て、宇宙軍編成に際して取り込まれるであろう部隊の特定には至らなかった。

ただし、中国は近年、有人宇宙船「神舟」や月探査機「嫦娥」を着々と打ち上げ、宇宙空間において自国の宇宙機を他国の宇宙機に付きまといわせる等の活動を行う中(*5)、2024年4月には衛星の発射や運用を担ってきた戦略支援部隊の「宇宙系統部」(参照:右下図)を「軍事宇宙部隊」へと改称・格上げし(*6)、宇宙軍編成の兆候とも捉えられる動きを見せている。

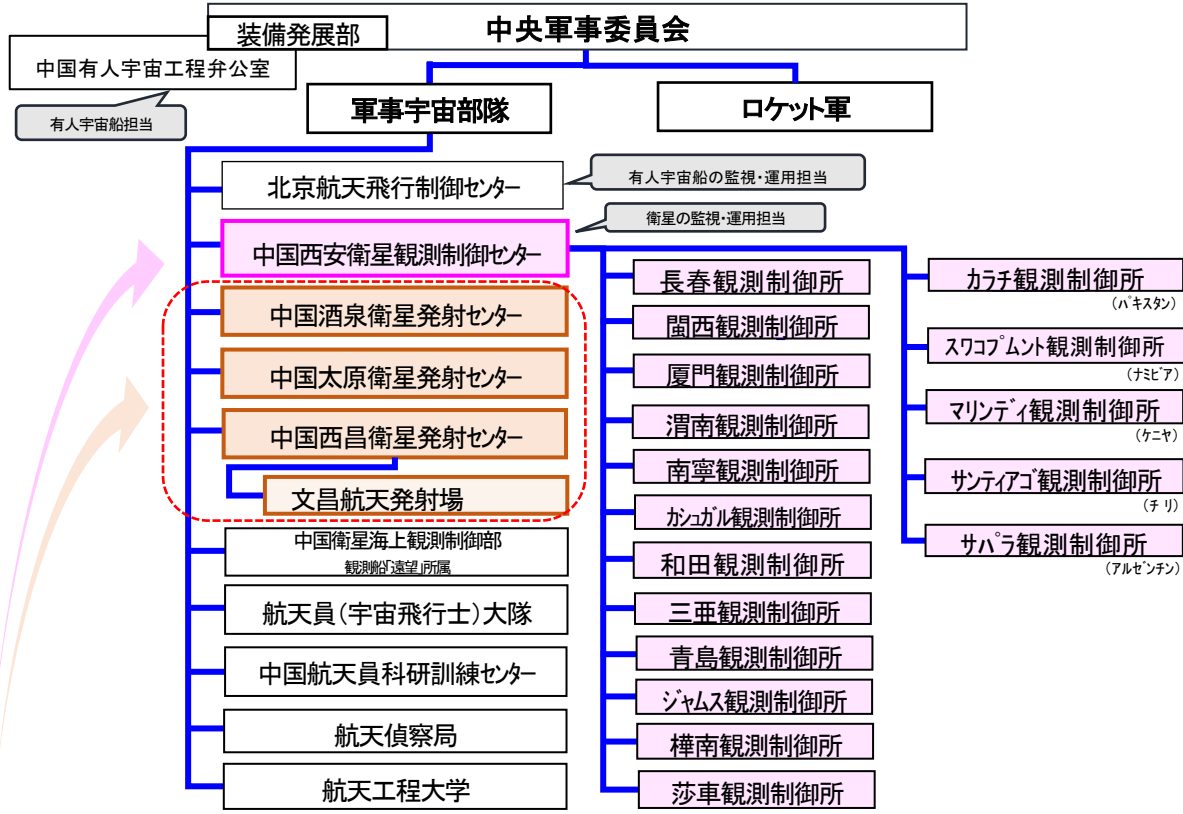
従って中国は、『戦略学』で示したように宇宙機攻撃を任務とする宇宙軍編成を見据え、まずは「軍事宇宙部隊」の編成に着手したものと捉えられ、宇宙軍編成に向け、既に従来の通常ミサイル部隊の一部をベースとして装備を整えつつ、訓練を実施し、準備を進めている可能性も否定できないと言えよう。

今回の調査結果、ミサイルの運用を担当する第61基地から第66基地までと比べ、第67基地から第69基地までは不明な範囲が広く、特にロケット軍で試射や訓練を担当する第69基地は不明部隊も少なくなく、これらの部隊が宇宙軍の編成に関わっている可能性も残されている。

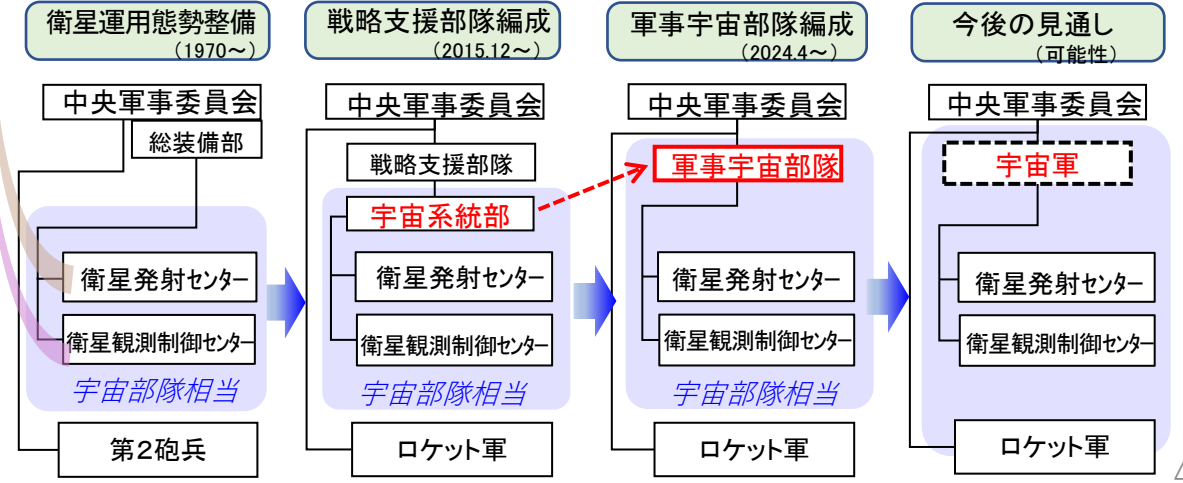
中国軍は『戦略学』(2013年版)で宇宙空間を「新興の戦略的空間」と表現し、「戦略的空間」について、「その外縁は、国家の利益の拡張範囲、更には軍事力の投射距離によって決定され、国家の安全及び発展のために延伸するもの」であり、「新興の空間」は「早い者勝ち」との認識を示していることを踏まえれば、国家の戦略的空間の拡張を見据え、将来的には宇宙軍の編成に着手しつつ、宇宙空間での活動をさらに活発化させる可能性は充分にあるだろう。

*5:千綿り子「中国による宇宙の平和利用の状況」『エア・アンド・スペース・パワー研究』(第12号、航空研究センター)の20～23頁。
*6:「国防部の情報支援部隊設立に関する記者会見の文字記録」『国防部H.P.』2024年4月19日。

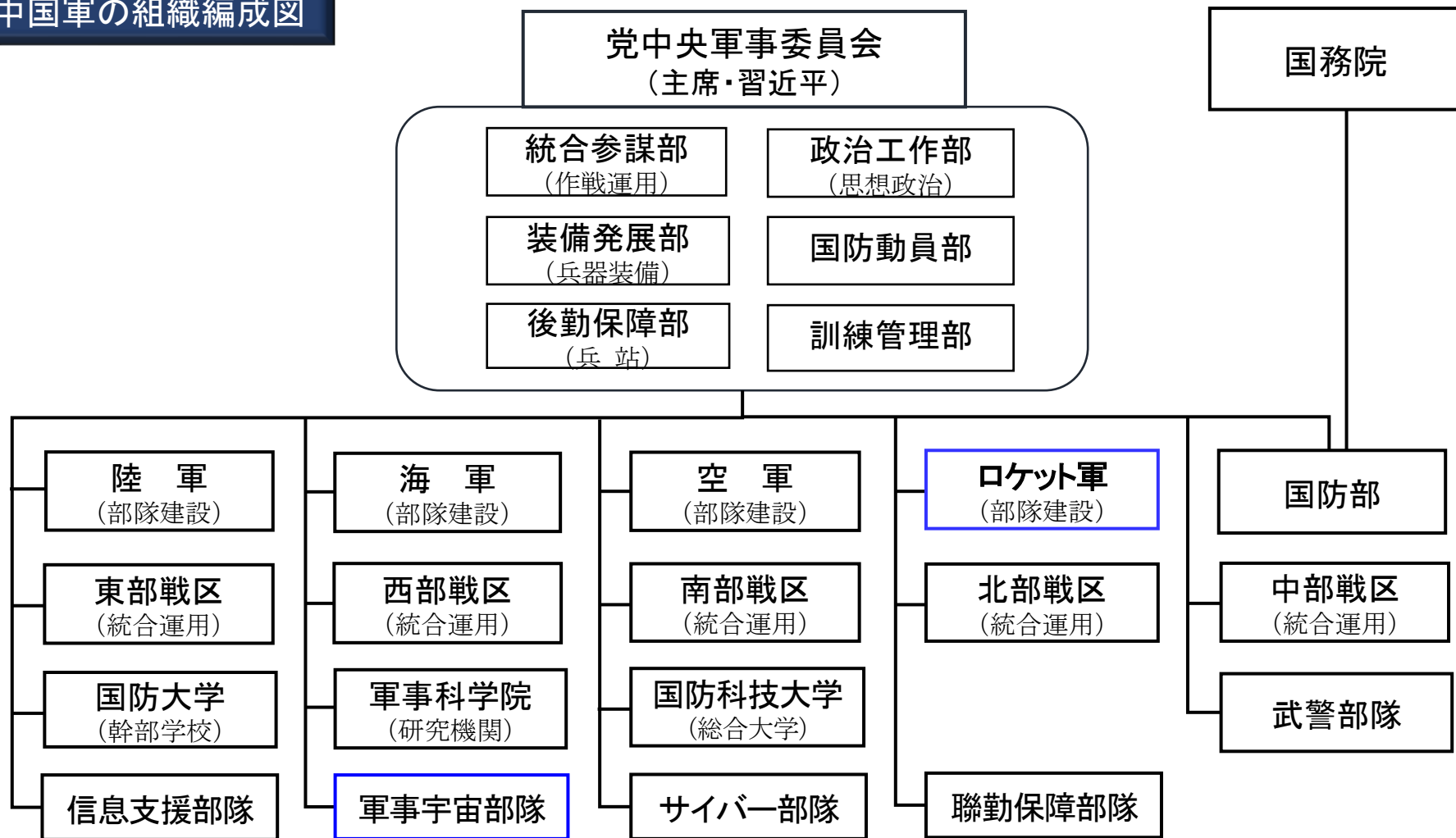
< 中国の宇宙関連組織 > ※公開資料を基に筆者作成



< 中国における宇宙軍編成の見通し > ※公開資料を基に筆者作成



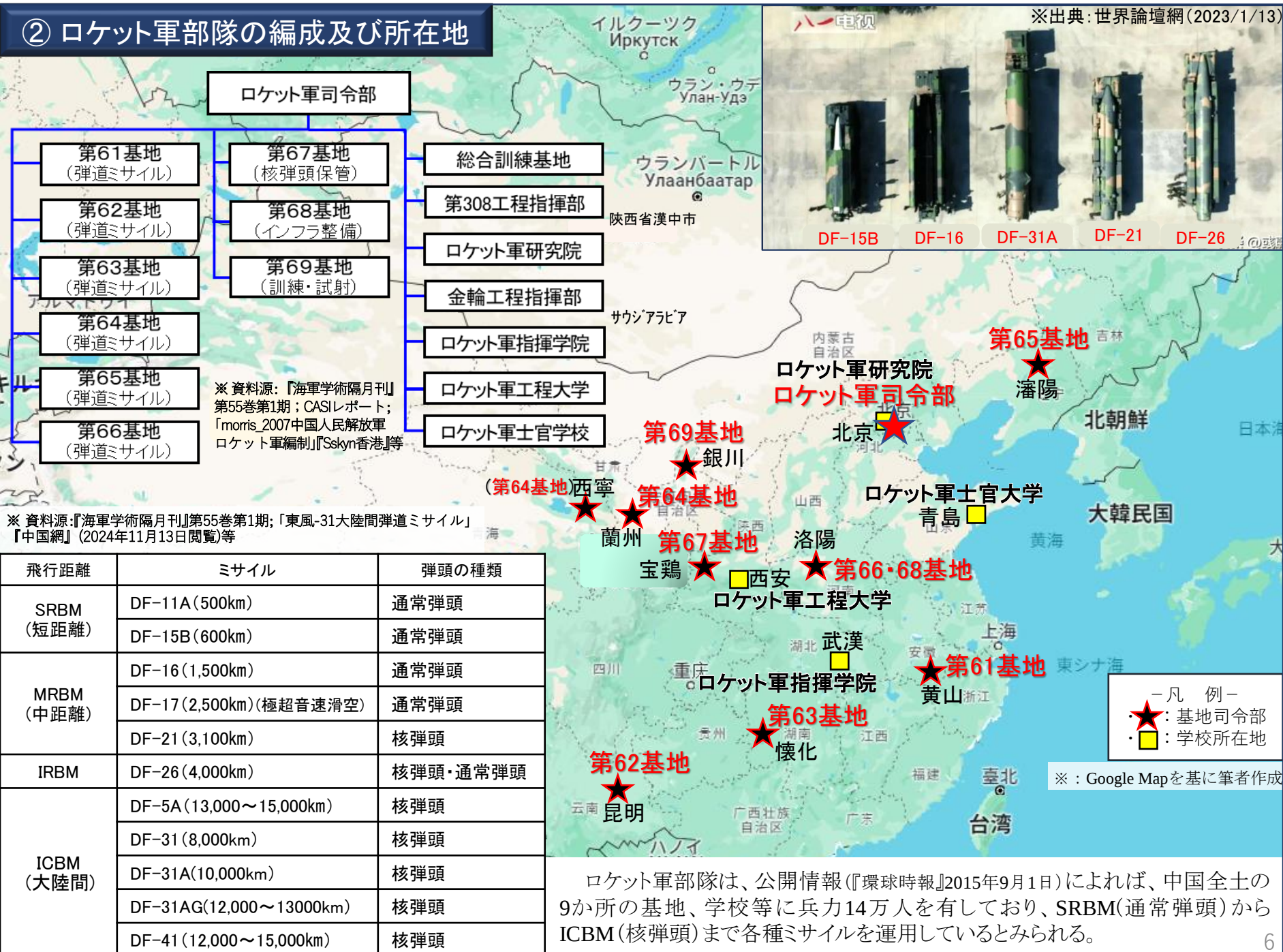
① 中国軍の組織編成図



中国人民解放軍全体の組織編成については、中央軍事委員会(主席:習近平)の下に、各軍種(陸・海・空・ロケット)、各戦区(東部・西部・南部・北部・中部)等が同じ並びで置かれ、それぞれが中央軍事委員会から直接指揮・指導を受ける体制がとられている。

この内、中国において核兵器やミサイルの運用を担当してきた第2砲兵は2015年末、第2砲兵からロケット軍へと改称され、陸・海・空軍と並ぶ軍種へ格上げされている。

② ロケット軍部隊の編成及び所在地



③ ロケット軍第67基地(96607部隊)の編成

旧22基地(旧96401部隊)

ロケット軍第67基地(96607部隊)は、CASIによれば核弾頭の保管任務を担うとされており、同基地の司令部は、陝西省宝鶏市宝光路49号八一大楼に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年3月14日時点で既に当該場所に部隊が所在していたことを確認できる。



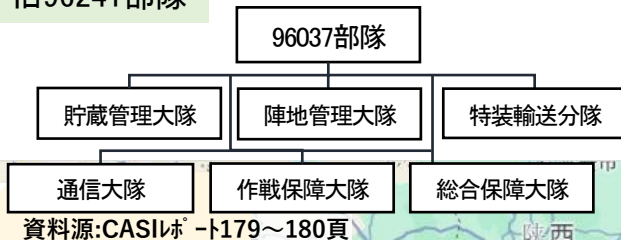
— 凡 例 —

・ 67 : 旅団等司令部

※ : Google Mapを基に筆者作成

④ミサイル技術勤務旅団(96037部隊)

旧96241部隊



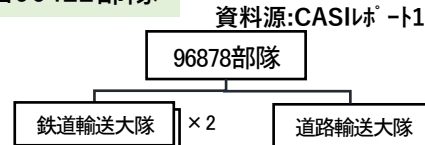
⑥作戦保障連隊(96873部隊)

旧96427部隊



⑦特殊装備輸送隊(96878部隊)

旧96422部隊



－凡 例－

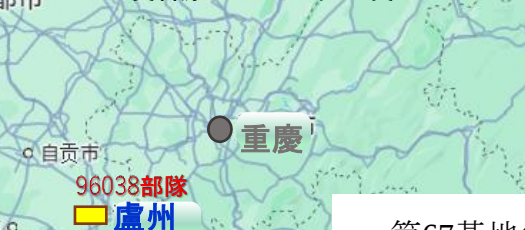
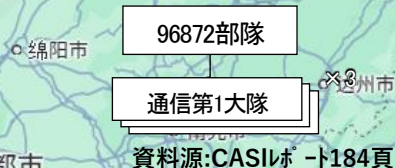
・67: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成



⑤通信連隊(96872部隊)

旧96425部隊



第67基地のミサイル技術勤務旅団(96037部隊)、通信連隊(96872部隊)、作戦保障連隊(96873部隊)、特殊装備輸送隊(96878部隊)は、CASIによれば、同基地司令部の敷地内にあるとされるが、それぞれの司令部の施設等、細部は不明である。

⑧96038部隊

旧96617部隊

第67基地の96038部隊は、CASIによれば、四川省盧州市江陽区藍田街道紅岩村に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年3月11日時点で既に当該場所に部隊が所在していたことを確認できる。

28° 50'15"N 105° 25'09"E
(四川省盧州市江陽区藍田街道紅岩村)

N

96038部隊司令部

本部

Google Earth(Airbus)2024/8/29

Google Earth(Airbus/Geo Eye/Landsat/Copernicus/Maxar Technologies)2010/3/11

2009年3月の状況

- ・ミール技術勤務旅団
- ・通信連隊
- ・作戦保障連隊
- ・特殊装備輸送隊
- ・総合保障連隊
- ・装機研究所

鳳翔

宝鷄

太白

・応急処置大隊・訓練連隊

96038部隊

盧州

四川省

— 凡 例 —

●(黄色)：旅団等司令部

※：Google Mapを基に筆者作成

96038部隊

輸送大隊

修理大隊

警衛大隊

技術分隊

特殊検査所

利刃特戦隊

電子対抗分隊

立入禁止区
守護神警衛中隊

南昌
総合防護第2連隊

資料源:CASIレポート181頁

温州市

⑨ 応急処置大隊 (96771部隊)

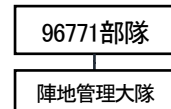
旧96879・96426部隊

⑩ 訓練連隊 (96871部隊)

旧96423部隊



資料源: CASI 16 - 182頁



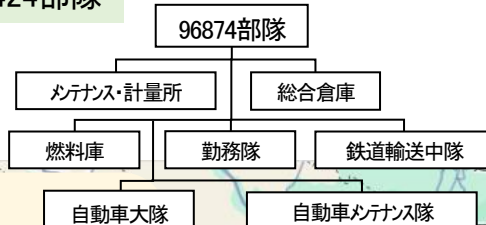
資料源: CASI 16 - 183頁



第67基地の応急処置大隊及び訓練連隊は、CASIによれば、陝西省寶雞市太白縣に所在することを確認できる。Google Earthによれば、2014年1月4日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認されるが、それぞれの司令部の施設等、細部は不明である。

⑪総合保障連隊(96874部隊)

旧96424部隊



資料源:CASIポータル187頁

鳳翔
宝鸡
太白
西安
汉中

- ・ミール技術勤務旅団
- ・通信連隊
- ・作戦保障連隊
- ・特殊装備輸送隊
- ・総合保障連隊
- ・装検研究所
- ・応急処置大隊
- ・訓練連隊

⑫装検研究所(96877部隊)

旧96411部隊

96877部隊

遠隔観測大隊

資料源:CASIポータル191頁

第67基地の総合保障連隊(96874部隊)及び装検研究所(96877部隊)の司令部は、CASIによれば、陝西省宝鸡市金台区臥龍寺街道に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2003年10月31日時点では、部隊とみられる施設はわずかであり、周囲は更地であるが、2007年11月8日時点で建設中の状況が認められ、2010年9月2日時点で概成している状況が確認された。以降、顕著な変化は確認できない。

34° 20'49"N 107° 16'17"E (陝西省宝鸡市金台区臥龍寺街道)



Google Earth(Airbus) 2024/12/27以前



Google Earth(Maxar Technologies) 2007/11/8以前

建設中(2007年11月)



Google Earth(Maxar Technologies) 2003/10/31以前



更地(2003年10月)

旧96634部隊

Google Earth¹によれば、2005年10月11日時点で更地であった場所において、2006年9月21日時点で建設が始まっている状況が認められ、2010年3月28日時点で既に概成しているとみられる状況が確認された。以降、顕著な変化は確認できない。

なお、隣接した場所には第68基地の機動通信連隊があり、どちらも同じ時期に建設されたとみられる。



旧22基地(旧96401部隊)



※ : Google Mapを基に筆者作成

莆田 68 工程第2旅团

⑮工程第1旅団(96781部隊)

旧96512部隊

第68基地の工程第1旅団(96781部隊)の司令部は、CASIによれば、陝西省宝鶏市陳倉区磻溪鎮党家堡村に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年3月14日時点で当該司令部に隣接する箇所は更地であったが、2015年2月11日時点で造成、2018年3月2日時点で建設中の状況が認められ、2020年1月28日時点で概成している状況が確認された。

以降、顕著な変化は確認できない。

Google Earth(Maxar Technologies/CNES /Airbus)2020/1/28以前



34° 19'01"N 107° 24'53"E
(陝西省宝鶏市陳倉区磻溪鎮党家堡村)



Google Earth(Maxar Technologies)
2018/3/27以前



工程第1旅団
宝鶏

漢中

三門峽

洛陽

陝西

山西

河南

江苏

南京市

苏州市

上海市

湖北

Google Earth(Maxar Technologies)
2015/2/11以前



Google Earth(Geo Eye/Maxar Technologies)
2009/3/14以前



— 凡 例 —

・ 68: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

96781部隊

第1大隊

自動車中隊

警備通信中隊

資料源:CASIポ 卜198~199頁

昆明

昆明市

懷化

貴州

四川

成都市

重慶

⑪工程第2旅団(96782部隊)

旧96514部隊

第68基地の工程第2旅団(96782部隊)の司令部は、CASIによれば、福建省莆田市仙遊県頼店镇八三大院に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2003年12月23日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認される。

Google Earth(CNES/Airbus)2017/3/2以前

工程第2旅団司令部

N

本部

25° 19'00"N 118° 42'50"E
(福建省莆田市仙遊県頼店镇八三大院)

Google Earth(Maxar Technologies)2003/12/23以前

2003年12月の状況

— 凡 例 —

・168: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

福建 莆田
168
工程第2旅団

台北



— 凡 例 —
・168: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

⑪工程第3旅団(96783部隊)

旧96518・96516部隊(推定)

Google Earth(Maxar Technologies)2021/12/22以前



概成(2011年7月)



- 凡 例 -

・ 68 : 旅団等司令部

※ : Google Mapを基に筆者作成



Google Earth(Maxar Technologies)2007/1/9以前



Google Earth(Maxar Technologies)2005/5/4以前



Google Earth(Maxar Technologies)2001/4/13以前



宝鷄
68

西安市

三門峽
68

洛陽
68

漢中
68

第1大隊

96783部隊

作戦保障大隊

総合保障大隊

勤務中隊

修理所

資料源:CASIレポート202頁

成都市

南昌
68

懷化
68
・工程第3旅団

江西

莆田
68

第68基地の工程第3旅団(96783部隊)の司令部は、CASIによれば、湖南省懷化市鶴城区楊村郷正清路に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2001年4月13日時点で当該場所に既に部隊が所在している状況が確認されたが、その後、一旦解体されたものと見られ、2005年5月4日時点で既に建設中の状況が認められた。さらにその後、2007年1月9日時点で建設継続中、2011年7月26日時点で概成している状況が認められ、以降も、施設の増設等が認められた。

⑩工程第4旅団(96784部隊)

旧96542・96544部隊(推定)

34° 31'58"N 112° 27'22"E(河南省洛陽市西工区金谷園街道)

工程第4旅団司令部

感恩堂
チャペル

本部

Google Earth (Maxar Technologies) 2024/1/12以前

Google Earth (Maxar Technologies) 2018/1/31以前

増設
(2018/1/31 概成)

感恩堂
チャペル

Google Earth (Maxar Technologies) 2010/12/30以前

建設中(2010年12月)

感恩堂
チャペル

更地(2002年9月)

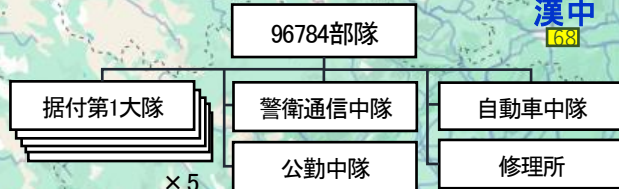
感恩堂
チャペル

Google Earth (GeoEye) 2002/9/8以前

- 凡 例 -

・68: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成



資料源:CASIポ ー204頁

第68基地の工程第4旅団(96784部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市西工区金谷園街道に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年9月8日時点まで当該司令部に隣接する箇所は更地であったが、2010年12月30日時点で増設中、2011年6月26日時点で概成しているとみられる状況が認められた。

その後、2018年1月31日時点で施設が増設されている状況が確認された。



⑪工程第5旅団(96785部隊)

旧96546部隊

第68基地の工程第5旅団(96785部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市伊川县城関鎮石窟村商都西路599号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年5月2日時点で、同司令部に隣接した箇所は更地であったが、2012年12月7日時点で造成されている状況が認められ、その後、2017年7月7日時点で概成し一部運用されているとみられる状況が確認された。



34° 26'12"N 112° 24'58"E (河南省洛陽市伊川县城関鎮石窟村商都西路599号)

Google Earth(Airbus)
2024/1/12以前



②工程第6旅団(96786部隊)

旧96528部隊

第68基地の工程第6旅団(96786部隊)の司令部は、CASIによれば、北京市昌平区南口镇温南路に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2003年4月4日時点で 当該場所に既に部隊が所在している状況が確認された。

以降、顕著な変化は確認できない。

なお、隣接する陸軍合成第6旅団も同様、2003年4月には既に当該場所に所在しており、以降、顕著な変化は認められない。



②訓練連隊(96881部隊)

旧96520部隊

第68基地の訓練連隊(96881部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市高新区徐家营濱河北路48号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年8月14日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認されたが、その後、施設は一旦取り壊されたとみられ、2011年4月16日時点で訓練連隊司令部本部とみられる施設等が概成している状況が確認される。その後も、施設が増設されていった状況が認められた。



②機動通信連隊(96882部隊)

旧96647部隊

28° 29'57"N 115° 55'31"E (江西省南昌市南昌県蓮塘鎮)

機動通信連隊司令部

本部

第67基地総合防護第2連隊

中共崗前村支部委员会

Google Earth(CNES/Airbus)2022/9/30以前

Google Earth(Maxar Technologies)2010/3/28以前

概成(2010年3月)

Google Earth(Maxar Technologies)2006/9/21以前

建設中(2006年9月)

中共崗前村支部委员会

96882部隊

第1大隊

資料源:CASI 第1209頁

南昌

機動通信連隊

懷化

湖南

江西

莆田

福建

臺北

※: Google Map を基に筆者作成

－凡 例－

・[68]: 旅団等司令部

第68基地の機動通信連隊(96882部隊)の司令部は、CASIによれば、江西省南昌市南昌県蓮塘鎮に所在しており、ロケット軍第67基地総合防護第2連隊に隣接していることを確認できる。

Google Earthによれば、2005年10月11日時点で更地であった場所において、2006年9月21日時点で施設が建設中の状況が認められ、2010年3月28日時点で概成しているとみられる状況が確認された。

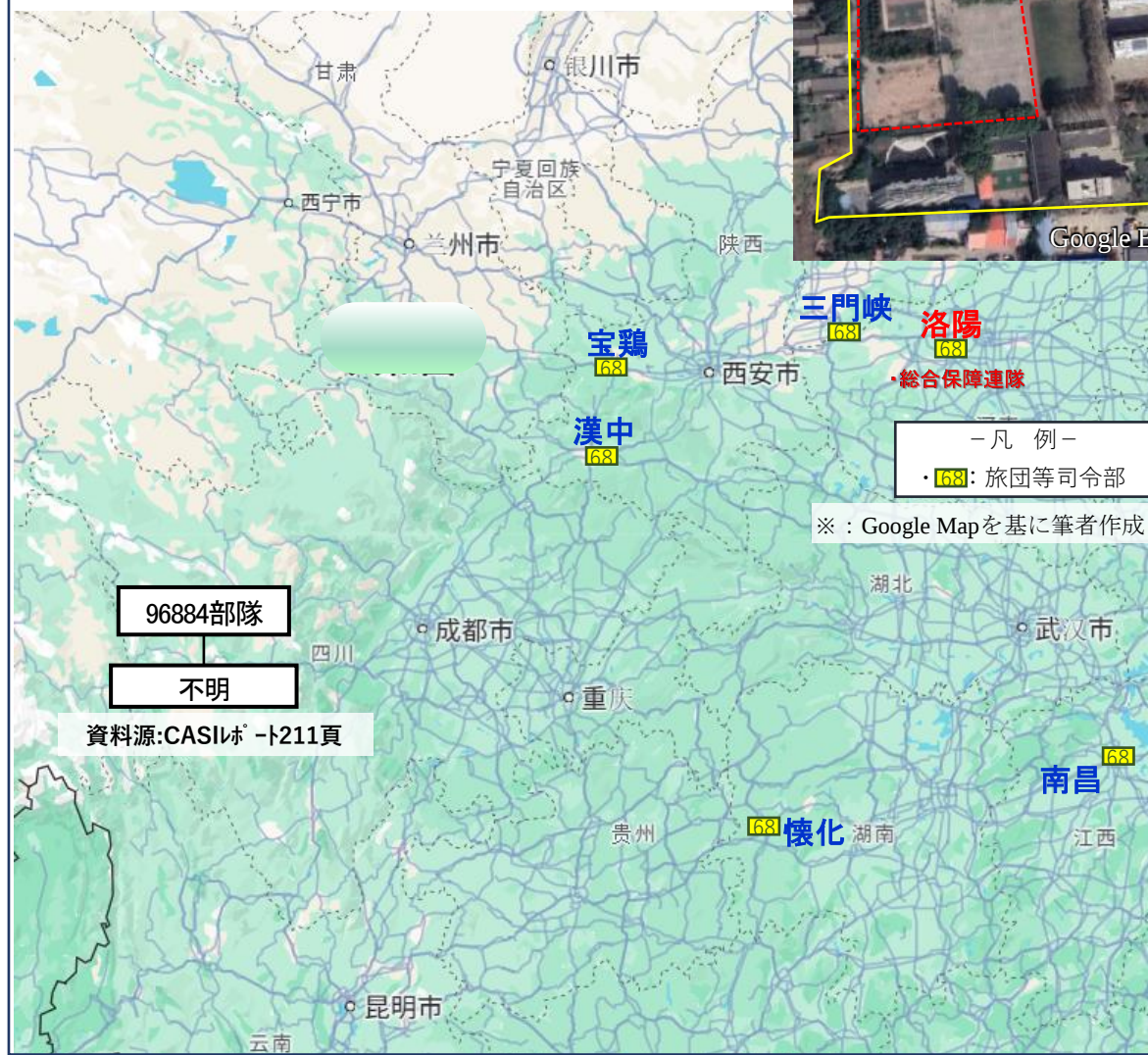
なお、CASIによれば、機動通信連隊司令部と同じ場所にロケット軍第61基地隷下の第618旅団も所在するとされるが、細部不明である。

②総合保障連隊(96884部隊)

旧96552部隊

第68基地の総合保障連隊(96884部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市西工区金谷園西路30号院に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年9月8日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が認められ、以降、顕著な変化は確認できなかったが、赤枠の箇所は2024年1月12日時点で施設を取り壊して再建中とみられる。



④通信工程連隊(96885部隊)

旧96548部隊

第68基地の通信工程連隊(96885部隊)の司令部は、CASIによれば、湖南省三門峽市に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2005年6月27日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、以降、顕著な変化は確認できない。



②5 工程維持保障大隊(96886部隊)

旧96646部隊

第68基地の工程維持保障大隊(96886部隊)の司令部は、CASIによれば、陝西省漢中市西郷県城北街道二里村漢白路西段33号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2015年3月28日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認される。



－凡 例－

・[68]: 旅団等司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

②⑥ロケット軍第69基地(96609部隊)の編成

第69基地
(96609部隊)



資料源:CASI 101-215頁

第69基地(96609部隊)の司令部は、CASIによれば、ロケット軍において訓練や発射試験を担当しており、その司令部は寧夏回族自治区銀川市西夏区懷遠西路503号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2003年12月16日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認され、2009年10月20日時点で一部施設が取り壊されグラウンドが設けられた状況等が確認される。以降、顕著な変化は確認できない。

なお、左図で青枠の部隊は、所在地等の細部が不明のものである。



㉗ 第1試験訓練区(96791部隊)

96791部隊

無宣電信中隊

資料源:CASIポ ー卜218頁

第1試験訓練区(96791部隊)の司令部は、CASIによれば、内モンゴル自治区阿拉善盟左旗巴彦浩特鎮に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2004年7月1日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、2009年9月17日時点で一部施設が建て替えられるなどしている状況が確認された。以降は、2022年12月10日に赤枠内が取り壊された状況が認められたほか、顕著な変化は確認できない。

また、CASIによれば、第1試験訓練区と同じ場所に測量制御連隊(96892部隊)も所在するとされるが、細部不明である。

㉘ 測量制御連隊(96892部隊)

第1試験訓練区司令部

測量制御連隊司令部

本部

38° 50'55"N 105° 42'51"E
(内モンゴル・阿拉善盟左旗巴彦浩特鎮)

Google Earth(Maxar Technologies)2022/12/10以前



※ : Google Mapを基に筆者作成



2016年9月の状況

取り壊し

Google Earth(Maxar Technologies)2016/9/10以前

Google Earth(Maxar Technologies)2004/7/1以前



2004年7月の状況

②第2試験訓練区(96792部隊)

旧96451部隊

③ 藍軍連隊

藍軍連隊

資料源:CASIレポート223頁

96792部隊

不明

資料源:CASIレポート219頁

偵察監視大隊

総合打撃中隊

特戦中隊

無人機分隊

黑龙江

モンゴル

ウランバートル
Улаанбаатар

第2試験訓練区(96792部隊)の司令部は、CASIによれば、吉林省崇白山市靖宇県三道湖鎮新農村に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2010年8月10日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、以降、顕著な変化は確認されない。CASIによれば、第2試験訓練区と同じ場所に藍軍連隊(連隊級の対抗部隊)が所在している。

双遼
[69] 藍軍連隊
[69] 第2試験訓練区
靖宇
[69]

遼寧

北朝鮮

大韓民国

— 凡 例 —

・[69]: 部隊所在地

※: Google Mapを基に筆者作成

新疆维吾尔自治区

巴丹吉林

阿拉善盟

岢嵐

[69] 徳令哈

[69]

★ 銀川

第69基地司令部

[69]

北京

河北

山西

陝西

河南

山東

江蘇

Google Earth(Maxar Technologies)2022/9/3以降

第2試験訓練区司令部

藍軍連隊司令部

本部

N

2020年10月の状況

Google Earth(CNES/Airbus)2010/8/13以前

2010年8月の状況

Google Earth(CNES/Airbus)2020/10/25以前

③1 第3試験訓練区(96793部隊)

旧96367部隊

2002年8月の状況

- 凡 例 -

・[69]: 部隊所在地

※: Google Mapを基に筆者作成

Google Earth(Geo Eye)2009/10/21以前

増設
(2007/8/1)

2009年10月の状況

Google Earth(Maxar Technologies)2002/8/26以前

96793部隊

藍軍分隊

藍鷹

警備通信中隊

通信所

資料源:CASI 本-ト220頁

巴丹吉林

阿拉善盟

銀川

岢嵐

徳令哈

第3試験訓練区

第69基地司令部

北朝鮮

大韓民国

Google Earth(Maxar Technologies)2022/12/20以前

第3試験訓練区司令部

本部

増設
(2012/9/2)

増設
(2013/10/17)

第3試験訓練区(96793部隊)の司令部は、CASIによれば、青海省海西モンゴル族・チベット族自治州徳令哈天俊西路に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年8月26日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、2007年8月1日、2012年9月2日、2013年10月17日時点でそれぞれ一部施設が増設された状況が認められた。

③第4試験訓練区(96794部隊)

旧96217部隊



資料源:CASIの -1221頁

第4試験訓練区(96794部隊) 司令部は、CASIによれば、貴州省貴陽市觀山湖区石林西路88号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年3月22日時点で施設が建設中、2010年12月17日時点で概成している状況が確認された。以降、顕著な変化は認められていなかったが、2023年11月1日時点でグラウンドが増設され施設が拡張している状況が確認された。



③③ 岢嵐発射勤務所(96891部隊)

旧96622部隊or80816部隊

38° 53'19"N 111° 35'53"E

Google Earth(CNES/Airbus)2021/7/30以前

Google Earth(CNES/Airbus)2023/3/26以前

岢嵐発射勤務所司令部

本部

38° 48'01"N 111° 37'24"E(山西省忻州市岢嵐県宋家寨村)



太原衛星発射センター

岢嵐発射勤務所司令部

巴丹吉林 阿拉善盟 岢嵐 第69基地司令部 銀川 德令哈

— 凡 例 —

■ 69: 部隊所在地

※: Google Mapを基に筆者作成

大韓民国

96891部隊

不明

資料源:CASIレポート225頁

Google Earth(Maxar Technologies)2004/1/1以前

2004年1月の状況

岢嵐発射勤務所(96891部隊)の司令部は、CASIによれば、山西省忻州市岢嵐県宋家寨村に所在しており、近傍には太原衛星発射センターがあることを確認できる。

Google Earthによれば、岢嵐発射勤務所司令部の所在地には、2004年1月1日時点で既に部隊が所在していた状況が確認される。

また、太原衛星発射センターは、DF-41ミサイルの発射試験任務を担っており、2018年5月27日にも試射が行われている(『人民網』2018年6月7日。)

このため、岢嵐発射勤務所は、DF-41等の試射活動を支援等している可能性も考えられる。

③496893部隊

Google Earth(Maxar Technologies)2013/10/11以前

2013年10月の状況



2021年2月の状況



Google Earth(Airbus)2021/2/3以前

Google Earth(Airbus)2024/8/30以前

96893部隊司令部

本部

39° 47'41"N 105° 45'04"E(内モンゴル自治区阿拉善盟阿拉善左旗吉蘭泰鎮)

吉蘭泰

約205km

サイロ群

杭錦

Google Earth(CNES/Airbus)2024/8/30以前

巴丹吉林

[69]

・96893部隊
・測量制御連隊
・第1試験訓練区

阿拉善盟

銀川

第69基地司令部

寄嵐

[69]

靖宇

北朝鮮

大韓民国

黄海

東シナ海

上海

浙江

安徽

湖北

河南

山東

河北

北京

遼寧

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

陕西省

山西省

河南省

河北省

北京市

辽宁省

吉林省

内蒙古自治区

宁夏回族自治区

新疆维吾尔自治区

西藏自治区

青海省

甘肃省

</

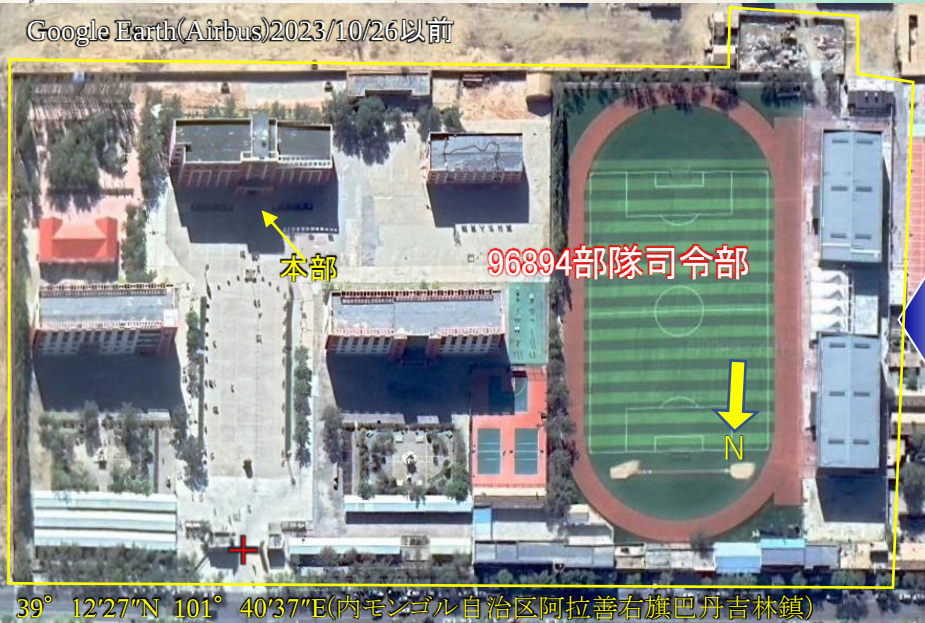
③596894部隊

第69基地96894部隊の司令部は、CASIによれば、内モンゴル自治区阿拉善盟阿拉善右旗巴丹吉林鎮に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年11月28日時点で既に当該場所に部隊が所在していたことを確認できる。



Google Earth(Airbus)2023/10/26以前



Google Earth(Maxar Technologies)2009/11/28以前



③6測量制御大隊(96896部隊)

旧96469部隊

Google Earth(Maxar Technologies)2011/3/29以前

更地(2011年9月)

Google Earth(Maxar Technologies)2014/2/13以前

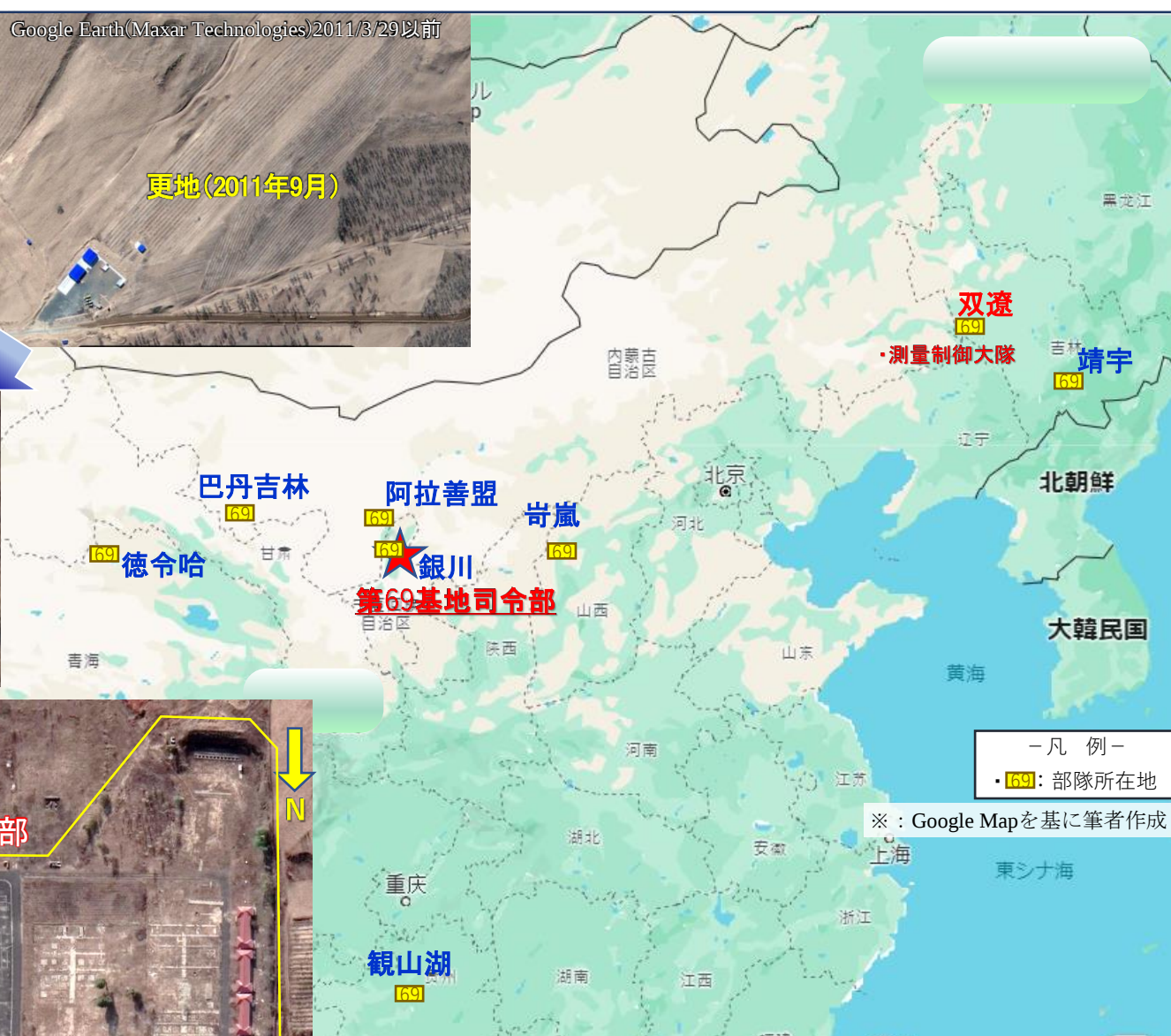
拡張(2014年2月)

43° 28'56"N 123° 23'40"E
(吉林省双遼市那木郷)

測量制御大隊司令部

本部

Google Earth(Maxar Technologies)2022/10/20以前



第69基地測量制御大隊(96896部隊)の司令部は、CASIによれば、吉林省双遼市那木郷に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2011年9月時点で施設はわずかで周囲は更地であったが、2014年2月13日時点で拡張している状況が認められ、その後更に拡張していく状況が確認された。

③7サイロ群(ハミ)

Бишкек

キルギス

コルラ 646旅団
★・DF-26

ハミ



— 凡 例 —
 ・○: サイロ
 ・□: 作業拠点



Google Earthによれば、新疆ウイグル自治区ハミ市において、サイロ群とみられる施設を確認できる。

温約瑟によれば、ロケット軍の中で新疆ウイグル自治区に常駐している部隊は、第64基地隷下の第646旅団のみであることから(参照: JASリサーチメモ「中国におけるロケット軍建設—シリーズ④西部戦区の組織編成及び部隊所在地について」R6-08、2025年2月3日、13頁)、この第646旅団がこのサイロ群周辺まで機動して訓練等を実施している可能性も考えられる。

③⑧サイロ群(玉門)



Google Earthによれば、甘肅省酒泉市玉門市において、サイロ群とみられる施設が確認される。

- 凡 例 -
- ・ ○ : サイロ
- ・ □ : 作業拠点



※ : Google Map を基に筆者作成



③9サイロ群(杭錦)

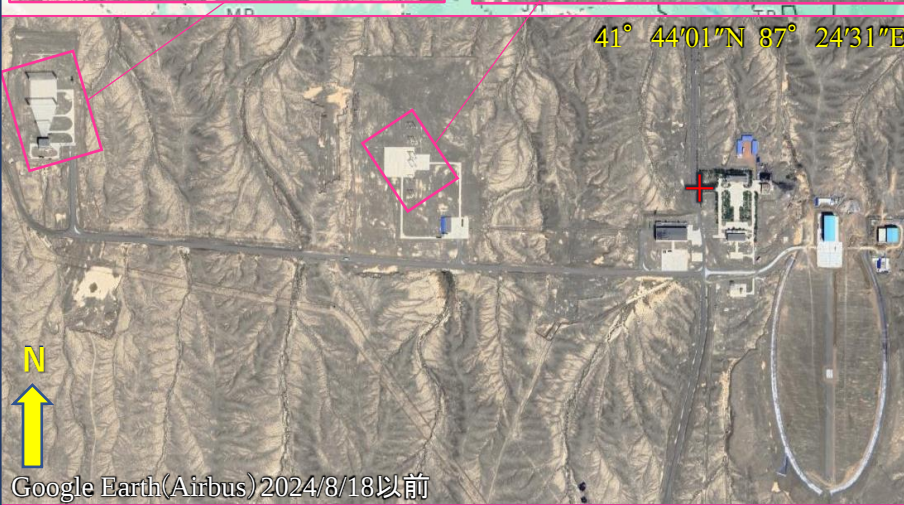


温約瑟によれば、内モンゴル自治区オルドス市杭錦旗の左図赤枠内にサイロ群があるとされるが、Google Earthからは確認できない。

④0対衛星兵器試験基地(軍事宇宙部隊)



温約瑟によれば、新疆ウイグル自治区コルラ市に軍事宇宙部隊の対衛星兵器試験基地が所在するとされ、当該場所では本頁に表示の施設を確認できるが、細部は不明である。



④1 不明施設(軍事宇宙部隊)

キルギス

コルラ★

新疆维吾尔自治区



温約瑟によれば、新疆ウイグル自治区バインゴリン・モンゴル自治州ロプノール県(尉犁県)金沙溝のロプノール核試験場にも近い場所に軍事宇宙部隊の施設があるとされ、当該場所においては、本頁に表示の施設が確認されるが、細部不明である。

40° 46'20"N 89° 16'54"E



- 凡 例 —
- ★: 旅団司令部
 - ★: サイロ群

※: Google Mapを基に筆者作成

